

お知らせ

毎度、西武高原バスをご利用頂きまして、また、この度は弊社ホームページ及び当白根火山ご案内ページをご覧頂き、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

2014年6月3日18時、気象庁より草津白根山の火山活動について、噴火警戒レベルを引き上げる旨の発表があり、白根山火口から半径1 km以内への立ち入りが規制されました。以後、規制範囲内の国道292号線の一部区間が通行止となり、弊社路線バスにおいても、万座プリンスホテル～白根火山～草津温泉間の一時運休を余儀なくされておりました。

6月14日から規制範囲内の国道292号線の一部区間の通行止が日中時間帯のみ解除されたことを受け、運休区間の運行再開に至りましたが、今もなお、車両のみ通行可・一切の駐停車禁止・火口周辺施設の使用禁止等の立ち入り規制は継続されております。

その為、現在、白根火山停留所の停車が禁じられ、乗り降りには不可能です。

また、立ち入り規制により、白根山山頂火口湖(湯釜)見物・周辺散策等はできません。

何卒ご了承くださいませ。

しかしながら、白根火山の美しく迫力にあふれた山容や万座温泉～白根火山～殺生河原間等の立体感と変化に富んだ大パノラマの絶景を車窓からご鑑賞いただきながらの万座～草津間約50分のバス小旅行・白根火山越えによる両地点間アクセスなどは再び可能となりました。万座と草津は共に白根火山の活動の恩恵に授かる温泉地。白根山の地下の源から、東へ西へ進路を分かち、遠くではるかな道のりを、神秘の歩みと鍛錬を経たのち各々の場で湧出した多彩な泉質に富むお湯の数々と、大きく異なる双方の温泉地風情を、草津から…万座から…少し足を延ばして、心行くまでお愉しみになるのはいかがでしょうか。

ご利用・ご乗車を心よりお待ちしております。



草津白根山は、主に湯釜を中心とした水蒸気爆発であり、噴石の飛散・泥水の噴出・火山灰の噴出が発生しやすい大変活動的な火山で、火山泥流を生じやすい特徴があります。水蒸気爆発は前兆現象が捉えにくく、注意を要します。

【ご参考】 白根火山・湯釜について／万座温泉・草津温泉のできかた

- ・白根火山は、西から東へ緩く傾いた土台の上へ出来た火山で、マグマ溜まりは、山頂下約3^{km}（標高マイナス1^{km}）あたりに存在していると見られています。
- ・山体内での火山性地震は湯釜東側山頂下500^m～2000^mで多く発生し、それは深いマグマから上昇してきた火山ガスの凝縮によって振動・共鳴して起こるものだそうです。
- ・凝縮された火山ガスは、高濃度の強酸性熱水を作り、山頂下500^mくらいのところで熱水溜まりを形成しているものと考えられています。
- ・山頂火口湖である湯釜の水自体の殆どは天水（雨等）と見られています、その高濃度強酸性熱水のかんりの量が湖底より注入されていると見られています。
- ・マグマからのガス放出量やガス組成の変化の影響が最も速く現れると見られているため、湯釜の湖水の変化は火山防災面から注目され、常時観測されています。
- ・熱水溜まりからの強酸性熱水は、やがて周囲に移動していきます。その移動通路は謎とのことですが、可能性として、断層の存在が有力であるそうです。
- ・東麓（草津方面）に下った熱水は、途中から大量の浸透地下水と混合希釈されてもお強い酸性で、溶岩を通過中に新旧様々な岩石の成分を大量に溶かしだしていくそうです。
- ・西麓（万座方面）に下った熱水は、基盤岩のすでに古い時代に変質をうけた岩石を通過し、草津方面と違う成分を溶かしだすので、万座と草津は泉質が異なってくるそうです。そして地表までの間に深層地下水などが複雑に混じりながら各々湧き出す為、万座温泉内でも湧出口によって成分や泉温に違いが出てくるそうです。

↓ 以下、乗合バスで行く **白根火山** 本編へ続きます。↓